

令和 1年11月11日

田辺市議会議長 様

会派名 日本共産党
代表者名 川崎 五一

出張（ 研修会参加 ） 報告書

下記のとおり出張（研修会参加）いたしましたので、その結果をご報告いたします。

記

参加議員	川崎 五一
期 間	令和 1年11月 5日 ～ 令和 1年11月 5日
実施場所 （研修会場、視察先、 相手方等）	新大阪丸ビル別館
活動の目的・内容 及び結果等	地方議員研究会 「新人議員のための一般質問基礎講座」

報告書は別添のとおり（案内・パンフレット等関係書類を添付すること。）

新人議員のための一般質問基礎講座 研修報告

日本共産党 川崎 五一

★講師：茨城県流町参与 松野豊 麗沢大学

★講義内容

一般質問の打率を上げる

- 1 期目の打率は 1 割か 2 割（ひとり会派）毎議会質問
- 2 期目は保守系最大会派に入った影響もあるか 3～4 割
- 3 期目は 6～7 割
- 4 期目は 8 割程度

1 期目にしか感じるできない感覚
世間の常識＝議会の非常識
質の高い質問と低い質問はある
打率を上げるために何をしたらいいか？

一般質問とは、その町の歴史を創ること

一般質問の目的は、何ですか？
登壇することが目的？（打席に立つことが目的？）
パフォーマンスが目的になっていないか
→まちがよりよくなること

質の高い一般質問とは？

- ①誰のための質問なのか
- ②論点・争点が明確
一問一答で論点がズれていかないように
- ③現状が把握できているか
現状と理想や希望する将来とのギャップ
課題との遭遇と解決の連続
→理想がなければ提言できない

通告書の書き方とすり合わせ

執行部と対峙する姿勢（スタンス）

討論はディベート 一般質問はダイアローグ

議論 ディスカッション

討論 ディベート

会議 ミーティング

審議 デリバレーション

会話 カンバセーション

対話 ダイアローグ

できない理由を並べる執行部に対して「それは課題」と捉え、課題をひとつひとつ解決していけば「出来る」ようになる

ディベートすると「譲歩案」や「折衷案」「先送り」しか生まれない
建設的なアイデアを生み出すためのダイアログ お互いの溝を埋めて

政策秘書もいない議員はオールラウンドで職員に敵うはずがない
専門分野（立ち位置）を決めておいた方がよい

※議会改革は票にならない

平成 16 年度は「1 年間を通じて同じ質問をする」と宣言した

1 回目から徹底的に質問したので、2 回目以降は市長が最初から答弁に

議員は町の仕掛け人（プロデューサー）

【感想】

自らが議員として一般質問に取り組んできただけあって、講義内容は具体的かつ分かりやすいものだった。

まちの将来像（理想像）をもって、そこに一步ずつ近づけていくための一般質問という観点は最もな意見だと思った。